

令和元年6月18日
四国地方整備局建政部**「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会
「受入態勢の整備」部会を開催します**

四国遍路の世界遺産登録を推進するために設置された『「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会』の部会の一つである「受入態勢の整備」部会では、遍路道の整備をはじめとした環境整備などの検討及びその推進を行っています。

令和元年度「受入態勢の整備」部会を以下により開催します。

1. 日 時：令和元年6月25日（火）14：00～（1時間半程度）
2. 場 所：101大会議室「高松サンポート合同庁舎南館1階」
（高松市サンポート3-33）
3. 議 事：部会運営規程の改正、H30年度活動報告及びR1年度活動計画、
みち案内表示シートの設置状況及び今後の設置推進について、
トイレ表示ステッカーの作成について、
遍路道における維持管理について 等



【みち案内表示シート】



【県道での設置状況】



【トイレ表示ステッカー】

<本件に関する問い合わせ先>

国土交通省 四国地方整備局 建政部

計画・建設産業課 課長 橋本 貴央（内線6121）

○課長補佐 古賀 庸展（内線6123）

TEL：（087）811-8314（計画・建設産業課 直通）

○：主な問い合わせ先

本施策は四国圏広域地方計画「第4部 広域プロジェクト プロジェクトNo.2 お遍路の癒やしや四国の文化を受け継ぐ「史国」伝統継承プロジェクト」に該当します。

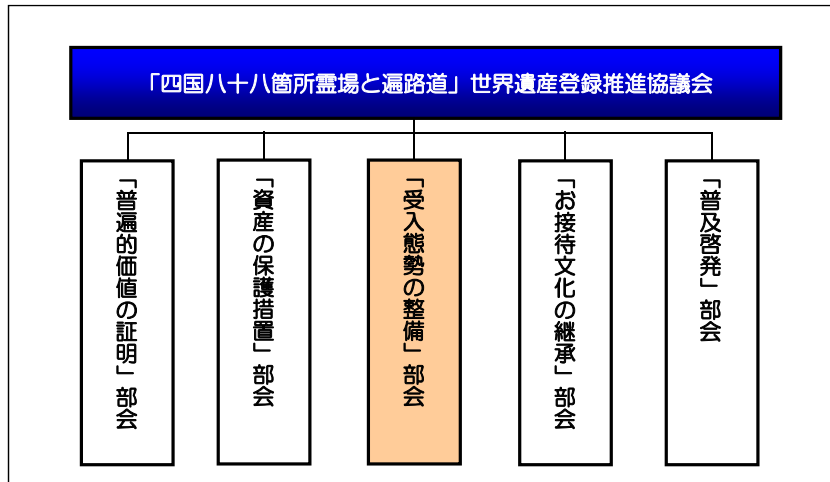
『「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会』について

●「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会……(H22.3.16設立)

・目的：四国遍路文化を後世へ確実に受け継いでゆくためには、構成する資産を保護するとともに、その文化的価値を国内外に向けて発信し、理解を深めることが必要である。これまで多様な主体が四国遍路文化の保存・継承に向けた活動を行っており、こうした活動を確かなものにするため、四国が一体となり、世界遺産登録に向けた総合的な推進体制である同組織を設立する。

- ・会長：千葉会長(四経連前会長)
- ・副会長：4県知事
- ・構成員：経済団体、NPO法人、大学、霊場会、4県、58市町村、国出先機関 等 97団体

※推進体制



■「受入態勢の整備」部会……(H23.7.20 設置)

- ・目的：遍路道の整備など環境整備の検討・推進
- ・部会長：平井 秀輝 (四国地方整備局長)
- ・副部会長：石原 俊輔 氏 (四国経済連合会 専務理事)
松田 清宏 氏 (NPO遍路とおもてなしのネットワーク 理事長)
- ・構成員：経済団体、NPO法人等、4県、58市町村、国出先機関 (85団体)
- ・事務局：四国地方整備局、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・活動状況：「受入態勢の整備」部会では平成26年度に決定されたみち案内表示シートを、四国霊場八十八箇所を訪れる歩き遍路や自転車遍路の方々に対する道案内のため、設置を推進しております。
また、お遍路をする方達が安心していただけるよう、遍路道とトイレ位置案内図を随時更新して情報提供を行うとともに、現地でも認識できるようトイレステッカーを作成しました。
令和元年度も引き続き安心してお遍路を巡ってもらえるように環境整備を行っていきます。



<決定したデザイン>



<県道での設置状況>



<遍路道とトイレ位置案内図>